



④「JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金」

2004年秋、女優の藤原紀香さんは縁あって訪れたカンボジアで決して豊かではないけれど元気に輝く瞳をもったたくさんの子どものたちと触れ合う機会がありました。「カンボジアの子どもの夢を実現するお手伝いが、自分にも何かできないだろうか。」JHPの活動に賛同(ださり)2006年5月「JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金」をスタート。2008年3月の建設支援に続き2棟目の支援となるスワイリエン県ワットゥールティエット小学校が2010年度内に完成。また昨年度に続き同基金から「第9回JHPカンボジア絵画展」開催にあたり、他の支援者の方々と共に美術教育支援にもご協力いただきました。なお同絵画展開催にあたっては2008年度から『藤原紀香賞』が制定され、カンボジアの多数応募作品の中からその独特の視点で1作品の選定と講評を寄せていただいています。(藤原紀香カンボジア子ども教育基金: <http://www.norika-cambodia.com/>)

(1) 財源確保

①認定NPO法人関連(寄付件数の推移をグラフで表現)

当会は2004年1月に日本で19番目に認定NPO法人に認定されました。2009年度に再認定が受理されたため、2014年末まで資格を継続できることになりました。これは、JHPが多くの皆さまの支援を得るとともに、財務的にも透明性の高い活動を続けてきたことが認められたことと言えます。

今年度は、寄付件数が1119件となり、前年度より増加したものの、寄付総額は前年を下回りました。寄付件数については、大勢の方から東日本大震災後の救援募金をいただいたことも影響しており、前年度よりもより多くのご支援者が当会を支えてくださったというプラスの捉え方もできます。一方で、学校建設等のご支援者が減少している運営状況の兆しと見ることもできます。当会が2009年度までの寄附金実績を維持するためには、学校建設の支援者を増やすことも大切ですが、寄付件数そのものを増やす努力が大切だと考えております。

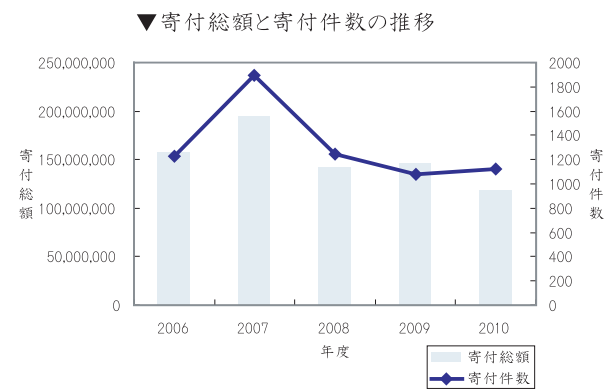
2011年度は、個別事業の支援呼びかけの強化、寄付リポート促進など、寄付件数を意識しながら、寄付総額の増加に向けて対策を講じていきます。

②会員の状況

今年度は継続・新規共に前年度よりも数が下回り、会員総数が59人減少しました。会員数を減らさないためには、会員の継続率を高め、未継続者以上の新規会員を獲得する必要があります。事務局では会員継続の依頼状に手書きでメッセージを添えたり、会員復帰を個別にお願いしたりする取り組みを行いました。成果を出すにはあと一歩努力が足りませんでした。また、会員からは、「会費や寄付の振込方法が主に窓口での振り込みに限定されるので、時間が取れずに忘れたままになってしまう」等の意見が出ています。会員継続の気持ちがある方が手軽な方法で会費や寄付を納められるようにすることが今後のJHP事務局の課題となります。

③各種助成金申請

NPOの運営と継続は自己資金の調達が重要となります。当会はこれまで寄付の割合が高く、助成金は大規模な事業や寄付金のみでは足りない事業について申請しています。2010年度は右表の通り、5件が採用され、組織運営の安定につなげることができました。



▼会員数推移

		人数		
		2010年 3月末	2011年 3月末	前年比
継続	特別会員	27	21	-6
	個人会員	939	915	-24
新規	特別会員	1	2	1
	個人会員	140	110	-30
合計		1107	1048	-59

▼助成金の実績

	名称	対象事業	備考
採用	外務省主催 NGOインターンプログラム ヘルシー・ソサエティ賞	組織運営	職員の育成経費
	JICAアドバイザー派遣	教育支援	小山内代表の推薦者が受賞 専門家派遣経費全額
	日本NPOセンター提供 ソフト寄贈プログラム	組織運営	
	外務省主催 NGOインターンプログラム	組織運営	職員の育成経費
結果待	年賀寄附金 連合「愛のカンパ」	啓発活動 教育支援	報告会開催経費 CCH支援、絵画支援

年度	寄付額	支援額	繰越し額
	(収入)	(支出)	
2006年度	1,949,618円	0円	1,949,618円
2007年度	6,175,280円	6,000,000円 学校建設	2,124,898円
2008年度	5,105,079円	220,000円 プランQ2基建設	7,009,977円
2009年度	1,704,782円	226,800円 美術教育支援 「第8回絵画展」 開催支援	8,487,959円
2010年度	825,301円	6,500,000円 学校建設(2棟目) 「第9回絵画展」 開催支援	2,813,260円



藤原紀香賞受賞者
タケオ県アンモンレイ小学校5年
タイトル「縄跳び遊び」
Soeung Sreykeo(11歳)

⑤ご寄付サイトの実績

今年度は、当会が参加している●つの寄付サイトを通じて、情報提供、運営協力等を行い、合計●●●円の寄付を受けました。(前年度実績:330,999円)

⑥各種募金活動

今年度は、3月11日に発生した東日本大震災の救援募金活動を行った所、3月末までに2,766,635円が集まりました。これらは、2011年度以降も継続される宮城県南三陸町を中心とする当会の救援活動に活用いたします。

⑦各種収集による財源確保

今年度も書き損じ葉書や切手を集める運動を継続した所、90,450円分(累計2,032,317)の通信費削減につながりました。また、未使用切手は46,634円分(累計406,439円)が集まりました。

⑧マイルージ

当会はデルタ航空「スカイウィッシュプログラム」の社会貢献プログラムの寄付先として、ノースウエスト航空との統合前から長年支援を受けています。今年度は、役職員の海外出張、音楽・美術の専門家派遣、ネパール調査派遣等にマイルを有効活用することができました。2010年度の獲得マイル数は約450万マイルで、この大半は、淑徳与野高校の修学旅行参加者全員からの寄付によるものでした。利用総数は約50万マイルとなり、この結果、年度末の残数は約843万マイルとなっています。

(2) 各種会議

①会員総会

2010年5月29日(土)、読売理工医療福祉専門学校502教室にて実施しました。会員総数1,116名。出席者は434名(委任状含む)でした。

②理事会

今年度は8回実施しました。主な重要審議事項は次の通り。
第87回「ネパール支援」
第93回「理事の選任」
第94回「定款の変更」、「役職員研修ガイドライン」

③運営協議会

理事と事務局の情報共有や運営に関する協議・検討の場として、今年度は26回実施しました。

(3) 職員教育

第94回理事会にて研修利用のガイドラインを作成しました。この制度は、役職員が組織内外の研修機会を有効に活用し、積極的に研修に参加することにより、団体理念の達成、事業実施や運営能力の向上に寄与することを目的としています。これまでは個人の負担に頼っていた面がありましたが、一部分だけでも団体が補助することで個人負担が軽減されることとなります。制度は2011年度より実施します。

(4) 協力団体提携

今年度は9団体に参加及び加入し、活動展開の為の様々な情報を得ることができました。

- * JEN
- * 地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)
- * アフリカへ毛布をおくる運動
- * NPO事業サポートセンター
- * 国際協力NGOセンター(JANIC)
- * 港区国際交流協会
- * 教育協力NGOネットワーク(JNNE)
- * 北海道NGOネットワーク
- * カンボジア市民フォーラム